

2023年度 「卒業時修得してきたい力」 アンケート集計結果

教務委員会

アンケート対象者：2023年度卒業生 83名

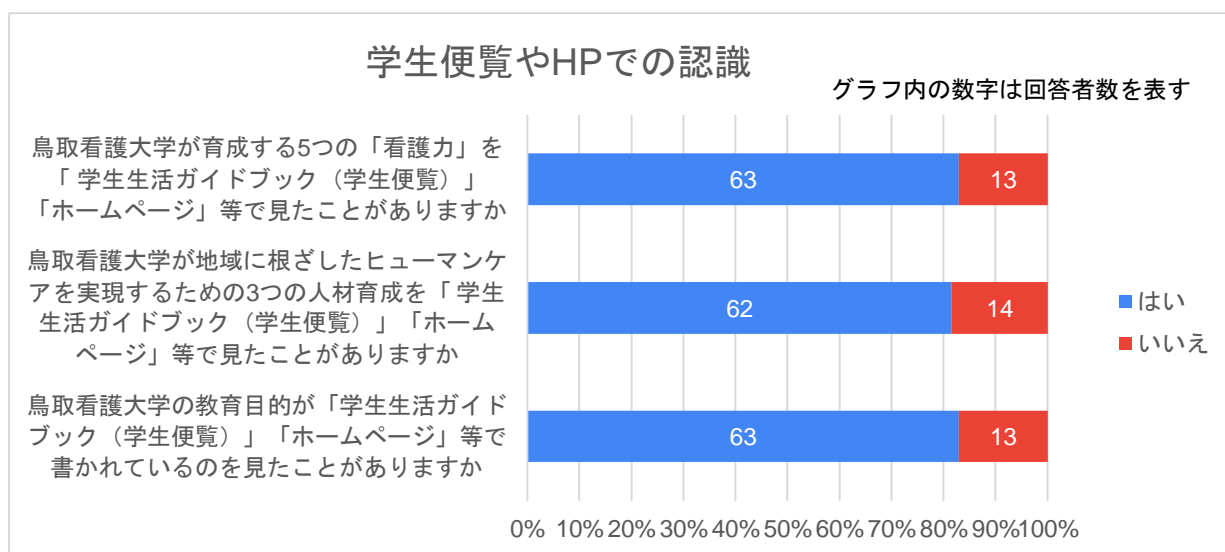
アンケート実施期間：2024年2月27日（免許申請説明会当日）

収集方法：Google Formsにてアンケート回答入力依頼

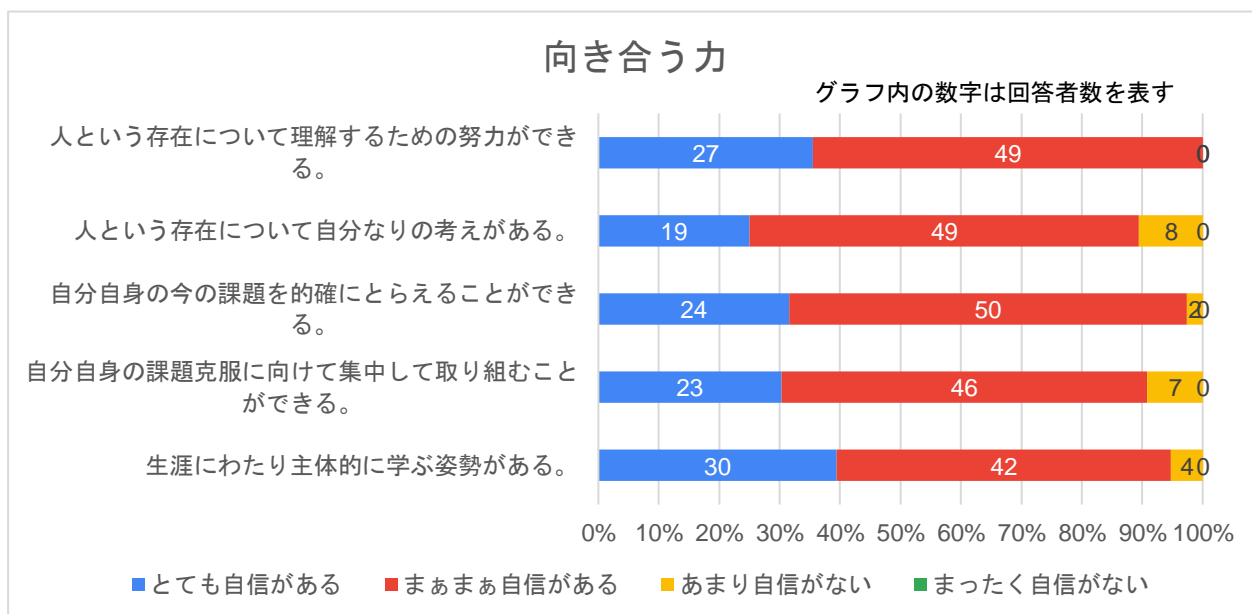
回収率：91.6%（76名／83名），有効回答率100%

I. 結果：

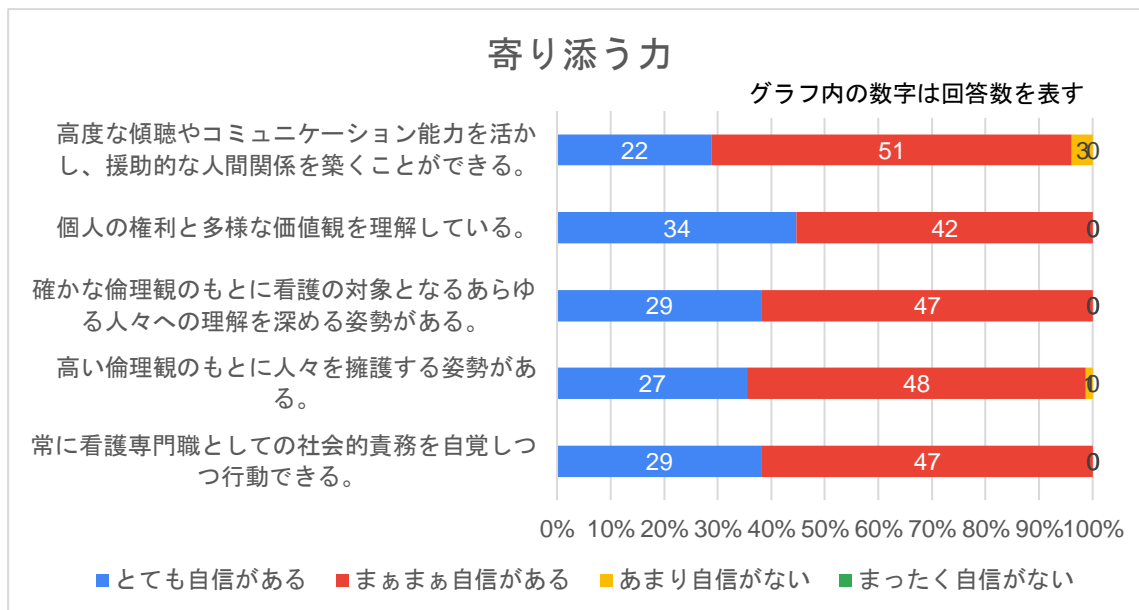
1. 教育目的、人材育成の方針、育成する5つの「看護力」の周知



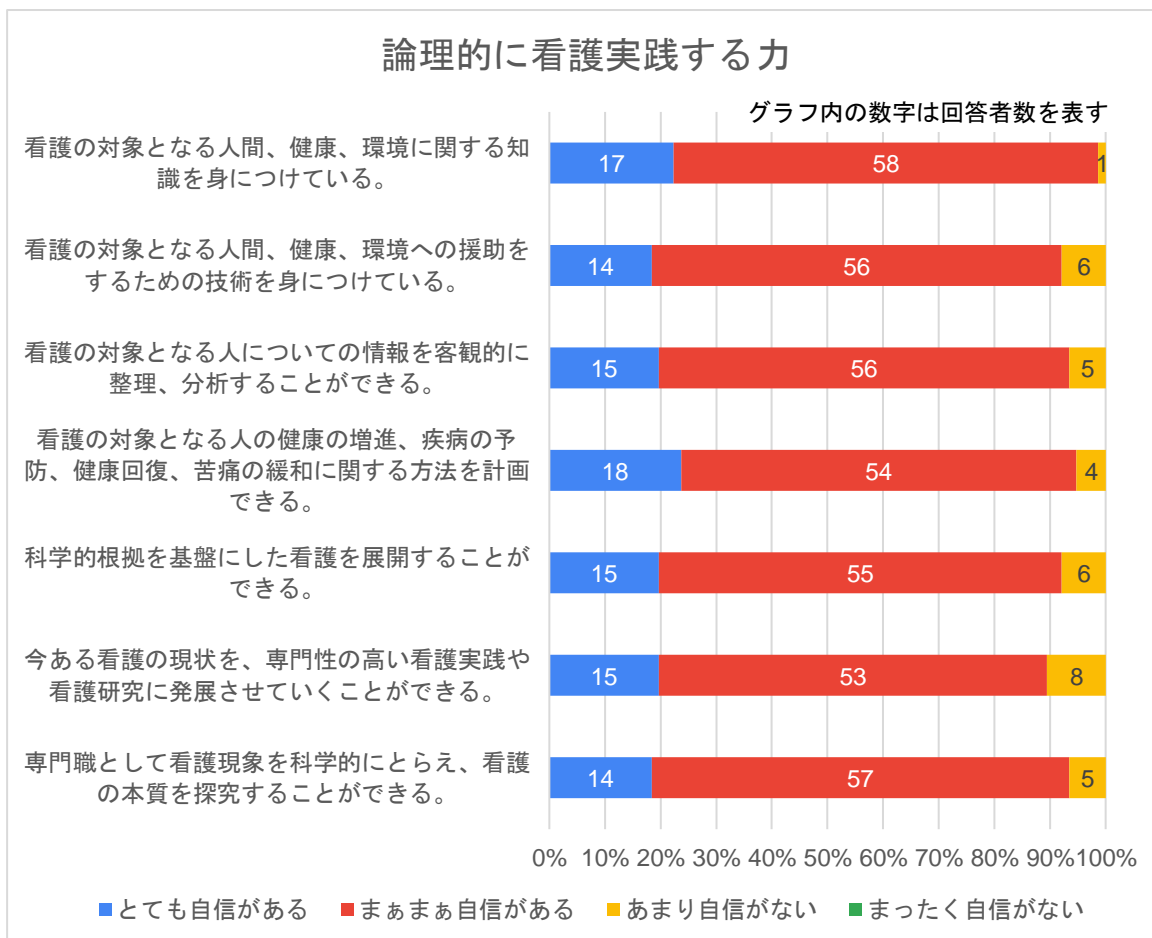
2. 「向き合う力」について



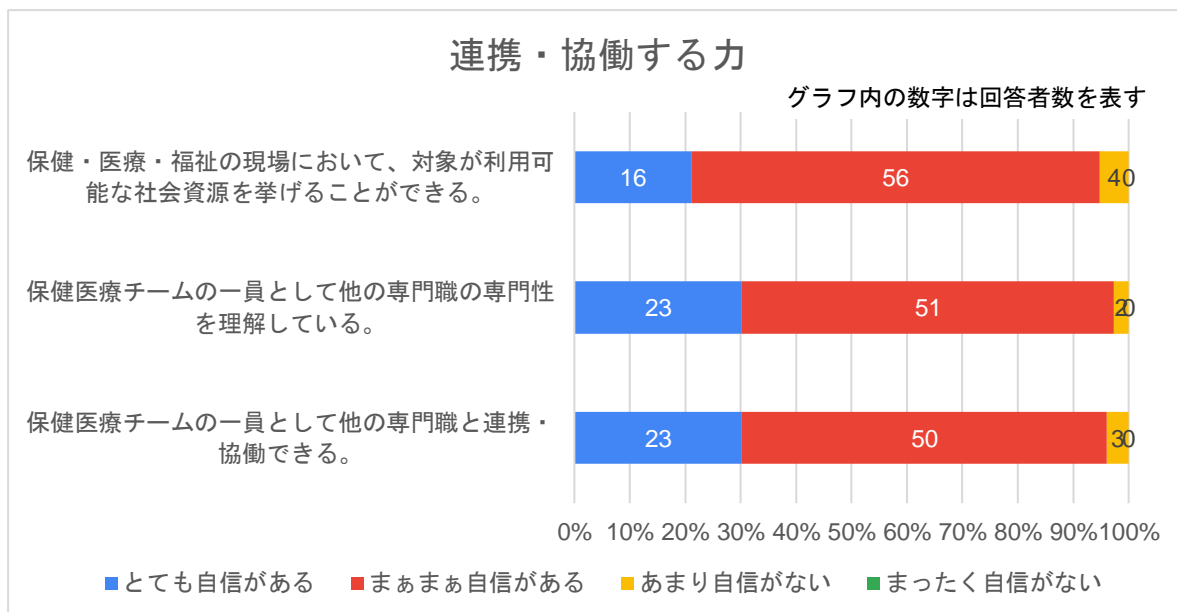
3. 「寄り添う力」について



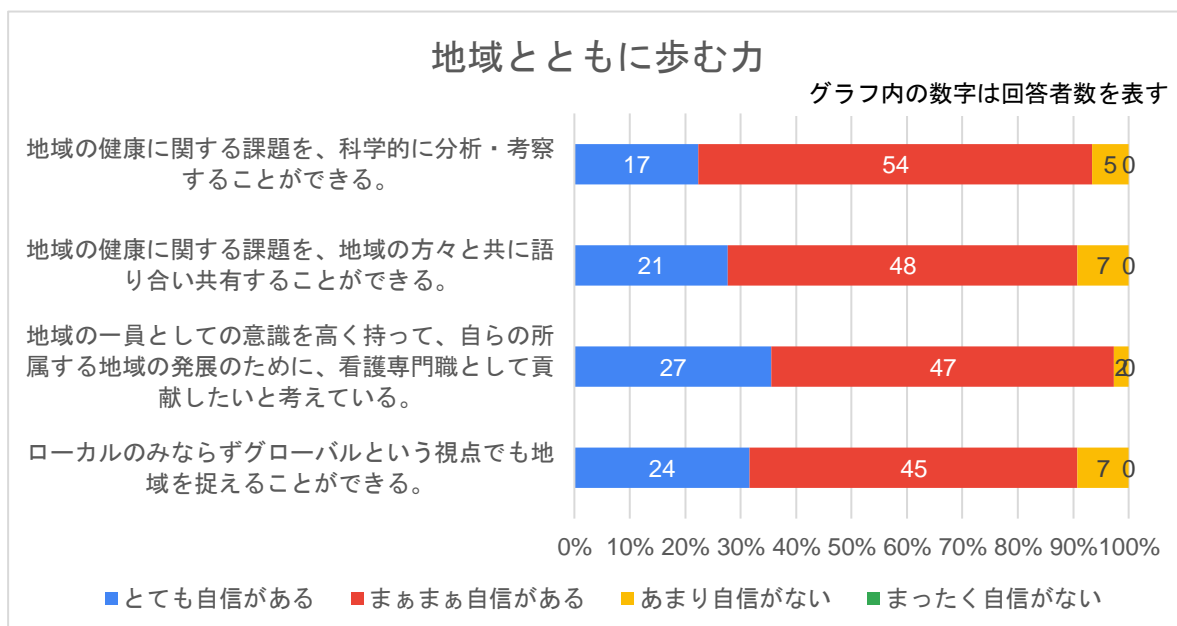
4. 「論理的に看護実践する力」について



5. 「連携・協働する力」について



6. 「地域とともに歩む力」について



II. 考察：

- ・今年度も昨年度同様、看護師資格申請書類に関する説明会の日にはアンケートを実施した結果、十分な回収率が得られた。
- ・学生便覧やHPで、「教育目的」「育成する5つの『看護力』」「人材育成の方針」について認識しているかについて、昨年の結果と大きな変化はなく、概ね認識できている。
- ・5つの力については、どの力についても90%を超える学生が「とても自信がある」「まあ

まあ自信がある」と回答しておりこれは昨年度よりも多い結果である。多くの学生が本学のカリキュラムの中で、ディプロマポリシーに適った力が身についたと考えているといえる。

- ・【看護実践する力】については他の項目と比べて「とても自信がある」の回答が少ない。これは例年通りの傾向であるが、昨年度はこのカテゴリについて「まったく自信がない」の回答もあった。今年度の卒業生は COVID-19 の感染症分類の変更により臨地で実習できた学生が昨年度よりも増えたこと、4年次科目を体系化し、学生自身が興味関心のある分野で探求できたことが影響し、看護実践する力の醸成を実感できている可能性が考えられる。

以上